

# 新風

発行 神石高原町議会議員

## 木野山孝志 後援会

平成27年04月10日 NO.35

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

# 平成 27 年度 一般会計当初予算

平成27年度当初予算の、一般会計・特別会計・病院事業会計の合計額は137億5976万円で、前年度対比6535万円の増額予算（0.5%増）となっています。内訳は表のとおりです。

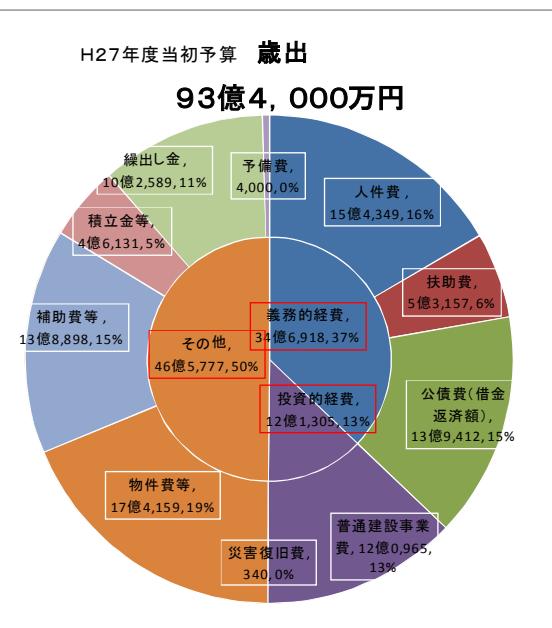
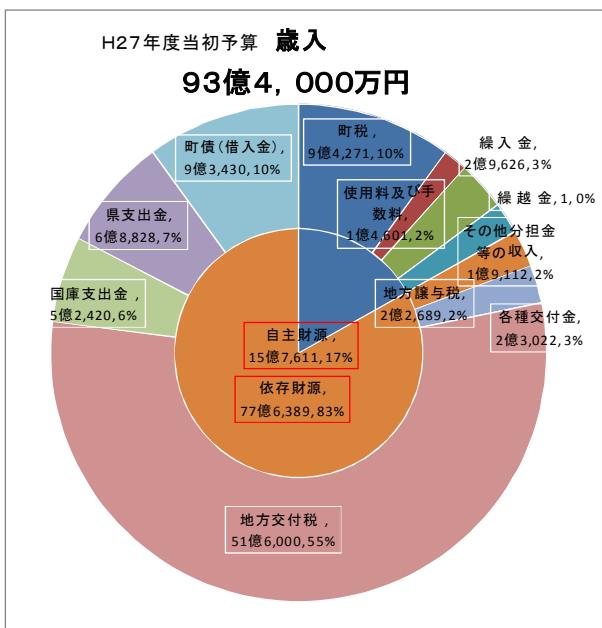
一般会計は93億4千万円で前年度比1億2千万円増（1.3%増）で、小畠公営住宅建設・来見小学校大規模改修など投資的経費（25%増）が大幅に伸びています。

まち・ひと・しごと創生事業など2億7105万円が平成26年度から繰越され事業実施される予定です。

自主財源は15億7611万円、収入総額の16.9%で2.6%の減となりました。繰入金の減などが

平成27年度特別会計・病院事業会計当初予算

会計名		予算額
特別会計	国民健康保険特別会計	12億5,380万円
	後期高齢者医療特別会計	4億0,400万円
	介護保険特別会計	18億9,450万円
	簡易水道事業特別会計	2億5,100万円
	飲料水供給施設事業特別会計	3,940万円
	農業集落排水事業特別会計	2億5,150万円
	分収育林事業特別会計	5万円
	総合開発事業特別会計	2,840万円
	特別会計合計	41億2,265万円
病院事業会計		2億9,711万円
合計		44億1,976万円



なお、平成25年度末の町民一人あたりの地方債残高は132万8千円で県内平均の64万1千円を大幅に上回っています。人口の大幅減が要因です。

# 平成26年度補正予算 平成27年3月

**財政調整基金積立に**

**3億9千万円**

## 平成26年度当初予算会計別総括表

会計名	H26年度	
	H27年3月補正額	補正後予算額
一般会計	2億3374	105億2326
国民健康保険	1233	11億7526
後期高齢者医療	-▲2096	3億8680
介護保険	-▲6742	19億1472
簡易水道事業	-▲1622	2億0575
飲料水供設事業		4230
農業集落排水事業		2億6796
分収育林事業		10
総合開発事	-▲3640	2163
特別会計計	-▲1億2867	40億1452
病院事業会計	-▲2842	5億2598
合計	7665	150億6376
特別会計+病院事業会計	-▲1億5709	45億4050

主なものは、平成27年度実施予定の国の経済対策交付金事業「まち・ひと・しごと創生事業」9632万円、財政調整基金積立に3億9千万円などが主なもので、他はほとんどが清算による減額補正です。

①消費喚起	*各種商品券発行など
②地方創生計画の策定	2900万円
③観光・交流・定住	1000万円
④起業・雇用・就農	890万円
⑤協働のまちづくり	780万円
⑥少子化・子育て	514万円
⑦次産業化支援	459万円
⑧教育支援・油木高校・英検	2830万円
560万円	580万円

## 平成27年3月一般会計補正予算(H26年度3月分)

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	-	9228	
総務費	3519	16億8856	旧永野南小・神石小解体▲795、新築住宅補助・子育て祝い金▲735、源流の里維持再生▲1,737、まち・ひと・しごと創成事業(地方再生先行支援型)6,732、まち・ひと・しごと創成事業(地域消費喚起・生活支援型)2,900
民生費	-▲1966	18億3892	障害者介護給付・訓練給付事業1,935、臨時福祉・子育て特例給付事業清算▲497、介護保険会計繰出し▲999、後期高齢者会計繰出し▲911
衛生費	-▲5623	11億5782	医療従事者貸付金▲810、成人健康診断など▲810、病院事業会計補助▲2,811
農林水産費	-▲1741	8億2614	農村地域総合推進347、数量調整円滑化▲321、県営事業負担金▲400、森林整備活動支援▲341
商工費	-▲684	1億6749	雇用促進奨励助成▲580
土木費	-▲3404	6億4361	坂瀬川共有地事務▲350、町道時安線▲590、単独町道整備▲2,433
消防費	-▲1420	4億4326	非常備消防▲570、消防設備▲362
教育費	-▲936	6億5116	学校教育諸費▲250、保健体育施設(シルトピアグラウンド)▲474
災害復旧費	-▲81	651	現年発生道路橋りょう▲79
公債費	-▲3068	17億9967	長期債元金償還▲1,272、長期債利子償還▲1,796
諸支出金	3億8779	11億6784	財政調整基金積立39,000
予備費		4000	
合計	2億3374	105億2326	

27年4月から

# なにがどうなる 新規事業など

## おもなもの

- ◎教育委員会「生涯学習課」が本所教育委員会内に移転（シルトピアカレッジから）
- ◎油木高校 大学進学希望者対象の「公営塾」開設
- ◎集団検診における基本健診費用の無償化、子ども医療費支給を18歳まで拡大、男女不妊医療費助成
- ◎生ごみ処理機設置に補助、地域自らの除雪作業への助成
- ◎生活公共交通 ふれあい号と路線バスの乗り継ぎに無償乗車券の発行（料金の上限を300円に）  
利便性の更なる向上→ふれあい号の運行改正など
- ◎消防デジタル無線の整備、常備消防の高規格救急車（安田）・消防ポンプ自動車（小塚）の更新
- ◎その他
  - 小畠住宅建替え
  - 来見堆肥センター（屋根改修など）
  - 星の里いせき集会所新築
  - 公共施設総合管理基金新規積立
  - 来見小学校校舎改善
  - 簡易水道施設整備（油木市場、安田上）
  - 新規町道整備（油木豊松線）

国へ意見書を提出しました

TPP交渉に関する意見書

TPP交渉については、安倍内閣は平成25年2月、交渉に参加することを表明しました。以来、今まで交渉は難航しております。

甘利TPP担当相は、早期交渉妥結に意欲を示していますし、安倍総理もTPPを政権の経済政策の目玉とする意向での交渉参加表明であったわけで、政権の期待は大きいものがあります。

TPP協定交渉の結果によつては壞滅的な打撃を受け農産業基盤の消滅により地域が消えるのではないか懼される。

農山村農地は、国土の保全、水源の貯留・涵養（かんよう）、など多面的な機能を持っており、「コメ」の国内生産を確保することは、この機能を充分に生かし日本の自然を守り農山村を守ることであり、また食の確保、安心・安全に直結する。

提案者  
賛成者  
片山元八郎

林水産物重要な品目の聖域の確保が出来るのか、非常に不安であります。ここに、再度、TPP協定交渉につき「聖域の確保について」意見書を提出するものであります。

情報開示協定により充分な情報のないまま、包摵的に合意が成されるのではないか、非常に不安である。

TPP協定交渉にあつては、交渉の状況等について、国民に対し十分な情報提供と明確な説明を行い、「交渉参加に当つては、農林水産分野の聖域を確保するよう全力を尽くす」方針を堅持し、農產品重要な分野の関税撤廃の除外を、強く要望する。

**事項別予算質問**

「総務課」

木野山 行政防災無線のデジタル化において、町内カバー率は。

総務課長 世帯カバー率79%、面積77.8%でアナログ波の場合より10%程度高くなります。

総務課長 まちびとしごと事業で義務付けられている長期計画でおこなう。公共施設全体を網羅する修理・改修計画を策定する。具体的な計画はそれぞれの整備計画で策定する。経費の1／2が特別交付税で附加される。

総務課長 まちびとしごと事業による指導も検討したい。Pに自治振興会のHPをリンクさせ発信している。現在、小野・新坂・牧・上豊松・井関大矢・有木の自治振興会がHP発信を行っている。

総務課長 以前は普通交付税相当額を当初予算に計上し決算見込みで出と入を補正していたが、補正額が多く不透明なので平成25年度より定額方式とした。今までの最高額が1億2千万円強だったのでも院側の損益に関係なく定期とした。病院側の収入は医療制度変更や患者数の変化で不安定なことと本年は電子カルテ導入による経費の増を見込み1億3千9百万円とした。

総務課長 まちびとしごと施設であり利用も増加傾向にある。長期的な整備計画はあるか。

木野山 教育委員会と協議はしていないが私個人としては、今のところ整備の考えは持っていない。

木野山 デジタル化を契機に町全体の防災訓練を行ったうどうか。まずは年内にシミュレーションすべきだ。予算化を。

木野山 協働支援センターで行う業務は役場と住民でどう分担するのか。どちらが主体となるのか。住民のやりたい業務が先だと思うが。

木野山 「病院事業会計」

木野山 1億3千9百万円の積算根拠と職員確保対策交付金3百50万円の投資効果は。

木野山 生涯学習課長 地元や利用者の需要に応じて整備を行っている。平成27年度は老朽化したバッケンネットを更新する。

木野山 教育委員会から整備計画を上げ執行部と協議して欲しい。

木野山 公共施設総合管理基金の活用範囲の制限は。

木野山 自治振興会活動経費の中で、ふるさと納税に対応する。要望が有れば専門家が無いが。

木野山 「学校教育課」

木野山 今年度入試で地名に月5万円を交付。医師としてのモチベーションを高めて頂くもので投資効果は高い。

木野山 領の根拠と医師教育長 選抜1は地元連携中高一貫型校となつておりこの事かと思う。

木野山 公共施設総合管理計画の策定方法は。

木野山 規模に関わりなく、原状復帰となる修繕及び解体に活用する。規模のものは単独町費で対応する。改修はダメです。

木野山 「三和野球場」は本町の唯一の野球場として車場や観客席、トイレ、硬式対応球場など、町の野球場として全面に亘って整備を計画したらどうか。長期的に整備を考えて欲しい。

木野山 職員確保については町立病院の待遇が他と比べて良いとなれば効果はあると思つ。

木野山 教育委員会から整備計画を上げ執行部と協議して欲しい。



H23.11.28 少年野球教室  
於)三和野球場